

●海外への教員派遣

学芸学部多文化・国際協力量科 木村 朗子 教授

派遣期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

派遣先：フランス フランス国立東洋言語文化大学 (INALCO)

実績報告：

かねてより 2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災にかかわる文学作品いわゆる震災後文学についての共同研究を行っており、今回の研修においても国際シンポジウムを共同開催し、対談イベントに参加するなどした。また、毎月開催されている日本研究の教員による『源氏物語』の翻訳プロジェクトに参加し、それに刺激を受けて日本中世物語の現代語訳『現代語訳 日本中世稚児物語集』（平凡社ライブラリー、2025 年）を刊行した。その他、調査研究として、ロンドン大英図書館、パリ外国宣教会図書館、パリ装飾美術館図書館において源氏絵などの貴重書の閲覧研究を行なった。

---

学芸学部国際関係学科 小島 敬裕 教授

派遣期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

派遣先：タイ チェンマイ大学

実績報告：

最大の成果は、タイ語の基礎を習得し、簡単なインタビューを実施できるようになったことであり、その結果、従来の調査地における仏教実践との地域間比較研究が可能となった。また、チェンマイ市内における仏教関係の年中行事には欠かさず参加し、フィールドワークを行った。特にミャンマーとタイの僧俗関係の相違や、タイにおける出家行動の現状、在家者の仏教との関わり方について知見を深めることができた。さらに、チェンマイ大学に所属する研究者や学生と学術交流を行い、大学主催の国際会議でも発表・コメントを行った。